

令和初の献上桃に決定 26年連続で桑折のモモ選ばれる

新天皇即位後、初めての献上桃決定通知交付式が行われました。
献上桃の歴史が「平成」から「令和」へ受け継がれ、
桃農家や販売関係者からも、たくさんの喜びの声が届いています。



1 (左から) 芳見県北農林事務所
長、佐藤JAふくしま未来理事、
高橋町長 2 最高峰品質の桑折の
桃。香りがとても良く、糖度が高
いのが特徴です



最高品質の桃として 選ばれ続けて26回目

桑折町産の桃が、今年も皇室に献上
されることが決まりました。皇室への
献上は、平成6年から始まり、今年で
26回目。東日本大震災や原発事故後も、
桃農家の絶え間ない努力のおかげで、
途切れることなく続いてきました。

令和になって初となる「献上桃決定
通知交付式」が6
月18日、役場で行
われ、高橋宣博町
長立ち会いのも
と、県北農林事務
所の芳見茂所長か
らJAふくしま未
来の佐藤広武理事
へ、決定通知が交
付されました。



PEACH NEWS
町公式HP桃情報

献上桃の歴史や、今後の桃PR
販売の日程を掲載しています。



INTERVIEW 大槻 栄之さん

JAふくしま未来モモ生産部会桑折支部長

今年も選んでいただき、本当にあ
りがたいと思います。これも、町全体
の桃の品質向上に向けて、農家みん
なで日々研究を重ね、情報共有・実
践している成果だと感じます。これ
からも、桑折ならではのおいしさを
追求し、「献上桃」の名にふさわし
い桃を生産し続けていきたいです。

新天皇即位後、初めての献上桃決定
に、高橋町長は「四半世紀にも及ぶ献
上桃の認定という栄誉を、まずは生産
者をはじめ、町民の皆さんとともに喜
びたい。また、献上桃はまさに『桑折
プライド』の象徴。これを励みに、今
後も高品質で安全・安心な桃の生産に
努めていきたい」と話し、佐藤理事は
「これもひとえに、桃農家の皆さんの
努力が認められた結果である」と生産
者への敬意を称しました。

今年は、梅雨に入って降水量も安定
しており、「はつひめ」の収穫時期が
7月上旬、「あかつき」が7月下旬と、
例年並みとなる見込み。「献上桃選果
式」は8月上旬を予定しており、その
翌日、宮内庁を通じて、天皇皇后両陛
下ら皇室へと献上されます。

最高峰の桑折の桃。今年も、全国各
地での販売活動を通じて、広く町をP
Rをしていきます。